

分科会における検討について

1．分科会の目的

21 世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる世田谷らしい本庁舎とするため、基本構想に挙げられている検討課題及び庁舎等整備に係る諸課題を明確にし、集中的に検討する会議体を設置することにより、プロジェクトを適切かつ計画的に進めることを目的とする。

2．分科会の役割

庁舎整備担当課より設計における検討すべき諸課題と、そのスケジュールを分科会へ示した上で、各テーマに関係する所管が主体的に課題を検討し、考え方をまとめ、整備推進委員会において確認の上、整備事業の進捗に合わせ、的確に与条件を設計者に提示する。

3．事業ステージに応じた検討

本庁舎等整備に関しては、基本設計段階、実施設計段階、工事着工まで、建物竣工後と、事業の進捗に伴い、それぞれのステージにおける課題を検討、解決しながら事業を進める必要がある。

分科会については、本庁舎竣工時まで、各段階で生じる様々な課題について、継続的に検討する組織として位置付ける。

なお、分科会の構成は、各段階に応じて必要な見直しを行うものとする。

ステージ	課題
基本設計段階 (H29～30年度)	基本構想で挙げられた課題を検討し、設計に反映するための条件を整理する。
実施設計段階 (H31年度)	各種システム、諸室の詳細、運用方法について検討する。
工事着工まで (～H32年度)	工事中の業務体制、移転等に係る諸課題を解決する。
竣工後 (H35年度～)	業務開始後の諸課題を解決する。

4．検討の流れ

H29年10月頃まで	基本的方針、要求機能、業務体制の確定
11月	方針を設計者へ伝達
3月頃まで	設計者から提示された配置計画についての検討 システム、運用等に関する検討 工事中の業務体制に関する検討
H30年度	設計者との調整
H31年度	各種システム、諸室の詳細、運用方法についての検討